

平成30年度 第2回 坂井輪図書館協議会会議録（概要版）

◆開催概要

- 日 時 平成30年11月16日（金）午後2時～午後3時40分
- 会 場 坂井輪地区公民館4階 講座室3
- 出席者
 - <委 員>佐藤会長、中山副会長、尾崎委員、越智委員、田村委員、平栗委員、
本間委員
 - <事務局>伊藤館長、小林主査、中村主査、田中主査、高島囑託
 - <傍聴者>なし

◆次第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 平成29年度 決算報告
 - (2) 平成30年度 事業中間報告等
 - (3) 平成29年度 図書館評価について
- 4 その他
- 5 閉 会

◆配付資料一覧

- 平成30年度 第2回 新潟市立坂井輪図書館協議会次第
- 資料1-1 平成29年度決算
- 資料1-2 平成29年度決算（資料購入費）
- 資料2-1 平成30年度 事業中間報告（坂井輪図書館）
- 資料2-2 平成30年度 事業中間報告（内野図書館）
- 資料2-3 平成30年度 事業中間報告（黒埼図書館）
- 説明資料 図書館協議会における図書館評価について
- シートNo.1 平成29年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート
- シートNo.2 平成29年度 新潟市立図書館指標別評価シート

◆主な内容

- (1) 平成29年度決算報告
 - (中山委員) 図書館として買いたくても買えなかった資料はあるか。
 - (事務局) 全館で調整しながら購入している。傷みがあるが買い替えできなかつたり、雑誌の種類が減ったりした。
 - (事務局) 雑誌は種類が減ると展示架があくので分かりやすい。雑誌は新潟市全体で調整する必要があるため、例えば坂井輪図書館だけ雑誌を多く買うということができない。

(2) 平成30年度事業中間報告

- (越智委員) 人気作家について、作家名を教えて欲しい。
- (事務局) 男性作家・女性作家3名ずつ。男性作家は佐伯泰英，池井戸潤，東野圭吾。女性作家は有川浩，湊かなえ，宮部みゆき。新刊予約が特に多い作家から選んだ。
- (越智委員) 新刊予約が多いというのは何かデータを取っているのか，それとも恣意的なものか。
- (事務局) データを取っている訳ではない。職員の感覚的なもの。
- (田村委員) 坂井輪図書館のおはなしのじかんの変更を考えている理由は何か。
- (事務局) 火曜日にブックスタートや他の事業が重なることがあり職員が手薄になりやすいので変更したい。月曜日を検討している。

(3) 平成29年度図書館評価について

- (平栗委員) 郷土行政資料の増加とあるが，具体的にはどういう資料か。
- (事務局) 郷土資料は新潟市に関わる書籍。行政資料は，市の行政機関が出した統計書や年報など。
- (平栗委員) 過去に遡って購入しているのか。
- (事務局) 落ちのないように調べて購入している。古いものは手に入らないものが多く，寄贈で受入する。郷土資料は時間が経つと入手しづらくなるので，出版されたらすぐに購入し受入している。
- (事務局) 郷土資料は今の利用者のためだけでなく，未来の利用者のためにも集めている。また，地域学の講座でも使用されている。
- (越智委員) 資料費の減り方について，これは西区だけか，ほんぽーとなど他も減っているのか。
- (事務局) 全体的に減っている。ただし，中央図書館の資料費の割合を多くし，その分高価な本を購入してもらうなどの調整はある。
- (越智委員) 図書館を減らすという動きはあるか。
- (事務局) 見直せという話はある。
- (越智委員) 研修の参加人数が目標に届かなかった，研修参加が下がったのは忙しくてか。
- (事務局) 去年は図書室の閉室があり業務を圧迫した。仕事の優先順位を考えた結果である。
- (越智委員) 職場体験で通常以外の急な受け入れとあるが，受け入れは区を超えてあるのか。
- (事務局) 多くはないが，時期によっては区内でまかないきれなくて区外でということがある。
- (平栗委員) 貸出点数で内野，黒埼が下がっているとあるが。
- (事務局) 図書館利用は市全体的に下がっている。資料購入費も下がっているなかで，内野，黒埼は少ないマンパワーの中で減少率は少ない方である。